

拔萃

獨逸鐵鋼業の近況 (承前)

其一六 (The Iron & Coal Trades Review. Aug. 22. 1919.)

鐵 鋼

K O 生

上部シレジアに於ける瑞典鐵鑛輸入に關しては近來大に其量を増加せられたり、輸送は直ちに開始せらるへし、獨逸瑞典間に於ける最新協商の結果として鑛石の大量は既に準備せられたり、其一部はオーダー河より、他の一部はステツチン船積に依りて運搬せらるへし。ルクセンブルグ鑄物用銑はルクセンブルグに於て、二二〇乃至二五〇法にて供給せられたり、然るにヘマタイトは二五〇法にて購入せられ、他の市場に於ては尙高價なるへしと云ふ。

ローレンに於て生産せらる銑鐵全部は之を佛國內に供給せしむることは從來不可能事とせり、されは市場に於ては假令輸送の困難ありと雖も、之を他方面に供給せざるへからず。本年一月より五月末迄に於てローレン工作所は約九〇〇〇噸の銑鐵を佛國に供給せり、而して英國に對して新市場の發展を圖れり。ローレン工作所管理者の提議に據れば、六〇〇〇噸は必要に應じて即時に輸送せられ、而して各月一〇〇〇噸は今後六ヶ月間輸送せらるへしと、ローレン工作所に於て普通銑鐵一九七五〇法、滿俺銑鐵二一七五〇法にて供給せられたり、内國に於ける價格は平均一噸に付一〇乃至二〇法高價なりとす。ローレン工作所は又白耳義並瑞西より特殊品の註文を受けたり、併し素より多額のものに非ず。

國民議會に於ては目下イルセデー、ハルター株式を政府の権限内に領有せんと議案提出せられたり。價格は一九一九年五月七日より同六月三十日間に於けるハノーバー取引所最高及最低相場平均を取りたるものなり。大藏大臣は之を公定となさんとすれども、株主側に於ては之に反對して仲裁々に委託せんとせり。非公式の情報に據れば該議案は保留せられたりと云ふ。普魯西州鑛山管理局は獨逸に於て埋藏せる凡ての鑛石に就て調査を遂げんか爲めに經費豫算を編成せり。之は既に作業せるもの又は作業の可能なるもの、範圍にして未だ着手の域に至らざるものの謂なり。

鋼企業組合刷新問題に關して政府か之に干涉せることは多數加盟者をして聊か驚異の感を抱かしめたり。八月十九日の企業組合會議に於てキルドル氏は同組合より撤退せり。同氏の此行爲に就ては何等の理由なしと云ふ。鋼企業組合は最近に於て價格を騰貴せしめたり。而して經濟大臣は國家管理の名稱の下に之を認可せり。上部シレジア工作所に於て認可せられたるものは、ウエストフアリア工作所に於けるものより、二五パーセント高價なり。之其地方に於て生産の多量なるに基因すへし。

萬國企業組合はローレン鐵鑛山の所有權を獲得せんか爲めに、ゲルシエンキルヘン會社の管理せるルクセンブルグを領有せんとせしか失敗に終れり。ローレン鐵鑛山はローレンに於ける獨逸オース工作所と關係せるを以て熔鑛爐工場は後者の位置にありて共同に作業せるものなり。佛國アルセデー企業組合は負債償還にて獨逸オース鑛山を領有せんとして組成せられたり。該企業組合は萬國企業組合と關係密接なるものなり。

アルトナ、オッテンセンなるオッテンセン製鐵會社は汽罐工作の公選によりて、二年前ハンブルグに敷地を選定せしものなるか、目下造船所建設認可の爲めハンブルグ市廳に請願中なり。

ザール、デリングンなるメグイン會社はライン右岸の顧客を失ふを憂ひてブッツバッハ・ヘッセンなるブッツバッハ機械工作所株式七五、〇〇〇磅を獲得せり。

其一七 (The Iron & Coal Trades Review, Aug. 29, 1919.)
鐵 鋼

八月二十日の鋼企業組合會議に於て該組合刷新問題は反對者の抗議も無効に歸し、本年未迄延期せられたり。此日ライン製鋼會社及獨逸ルクセンブルグ會社は其刷新に反對して代表者を出席せしめず、其他の加盟者は十二月三十一日迄假延期を承認せり。タイセン會社は企業組合より撤退せるハーゲンデンゲン工作所に對して其取消問題を提出せり。企業組合側に於ては政府は或期間、法令の發布に據りて強制的に鋼企業組合の組成を見るに至るへしとの見解を有せり。

イルセデー製鐵所の鐵鑛山國有議案は最近作製せられたり、政府の説明に據れば、一九一六年の終に於て該會社と契約成立し、會社に於てはヒンダーベルグ案に依りて年々八〇〇〇〇噸より一〇〇〇〇〇噸迄の鐵鑛生産を保證せり。新計畫に於て國家は消費額に對する八〇パーセント支辨すへきことを契約せり、會社に於ては負擔無料たるものとす。政府は又ウエストフアリア工作所に對して鑛石輸送の量を決定せり、即ち政府は約三〇〇〇〇〇噸馬克支辨して三、五〇〇〇〇噸馬克は噸數配布條件とせり。イルセデー區域に於ける鑛石生産高は近き將來に於て三、五〇〇〇〇噸と測定せられ、内一、五〇〇〇〇噸は該會社の需要に供給せらるへし。

ロムバツハ鐵工會社の事業を承繼すへき競争を以て佛國に三團體組織せられたり、佛國當局者は左記の會社をして強制的に負債償却を命したり、即ち一、ロングウイ製鋼所及ハブレー線條會社、二、ホメコート鐵鋼所及ポント、マウソン鑄物用鐵工作所、三、シャッターリオン、シユナイダー及ウエンデル會社等なり。ストラスブルグに於て、アルサス、ローレンに於ける銀行業者の管理の下にロムバツハ會社と負債償却の關係を以て其擁護團體組成せられたり、アルサス、ローレン、佛國及アルサス、ローレンに定住する中立國の株主は一九一四年八月一日以後、其株式を受領せるものなり、佛國の通告に據れ

は負債償却並に新會社の組成に就て斯る株式所有者は唯一九一四年八月一日以前に於て株式を所有せる者に限ることを通告せり。

マンネスマン鋼管會社及ヒビスマーク鐵工所は和蘭東印度より鋼管の註文を受領せり、此種の註文は一九一四年以後、今回を以て嚆矢とす。日本は上部シレジア工作所に壓延産物の註文をなせり、而して其材料は既に日本船に依りてスカンデネビア港に到着せりと報せらる。

エツシよりの情報に據れば、デツファアーデンゲン及ルーメリンゲン熔鑛爐工場は佛蘭西及白耳義企業組合に依りて獲得せられたり、是に因てホームコート及オーグリ、マリハエー製鋼所は大なる利益を得るに至るへし、該計畫はルクセンブルグ政府及佛國議會の協賛せる所にして新會社の設立を俟ちて効力を生ずるものなりと云ふ。

會社近信

過去二ケ年間に於ける各會社の經濟狀態は左表の如し。

會社名	純益		普通株に於ける配當歩合	
	一九一七—一八年	一九一八—一九年	一九一七—一八年	一九一八—一九年
カトトウイツ製鐵會社	三六五、〇〇〇 磅	— 磅	— %	— %
フライス會社	一七、〇〇〇	一五、〇〇〇	一〇	一〇
ベントツ會社	八五七、〇〇〇	三二四、〇〇〇	二〇	八
ホーシ製鋼所	六二八、〇〇〇	—	二四	—
ウオールフ會社	一四二、〇〇〇	一一四、〇〇〇	一八	一五
マキシミアン鐵工所	二九二、〇〇〇	一一七、〇〇〇	一五	七
バロープ壓延工場	四八、〇〇〇	一八、〇〇〇	二〇	六

其一八 (The Iron & Coal Trades Review, Sep. 5, 1919.)

鐵 鋼

經濟大臣は鋼企業組合を本年末迄繼續すへきを通告せり。鋼企業組合は七月に於て重鐵道材料を一噸七〇馬克値上せしか、今又一三〇馬克値上せり。輕軌條も又一噸一五〇馬克値上せり、企業組合は上部シレジアに於ける鋼作業に關して價格平等の協議をなせり。

鐵鋼生産

鐵鋼組合の調査に據れば、ザール地方を包含せる獨逸鐵鋼生産は七月に於ては、前月に比して増加せり、殊に鋼に於て著しとす。六月に於ける銑鐵の日々平均生産高は一七、五六八噸にして、七月は一八、五六八噸に上れり、最近年に於ける各月生産高は次表の如し。

銑鐵生産高

	一九一四年	一九一七年	一九一八年	一九一九年
一 月	一、五六六、五〇五噸	一、〇八二、七九七噸	九三三、五七〇噸	五〇六、一八五噸
二 月	一、四四五、五一一	九四三、五四七	八〇二、七八八	四七五、五八六
三 月	一、六〇二、八九六	一、一〇四、六五三	一、〇三九、〇九二	五五八、七八八
四 月	一、五三四、四二九	一、一三一、六二〇	一、〇八四、六〇一	四三九、九七五
五 月	一、六〇七、一九三	一、一九八、一七一	一、一八四、七九四	五二四、九八六
六 月	一、五三一、三二三	一、一二四、九九八	一、一八二、四一五	五二七、〇三五
七 月	一、五六四、三四五	一、一九〇、〇一四	一、一七九、九四七	五七五、六三四
合 計	一〇、八五二、一九二	七、七七五、八〇〇	七、四〇七、二〇七	三六〇八、一八九

本年五月、六月及七月に於ける鋼生産高は次表の如し。

鋼生産高

	五月	六月	七月
鹽基性ベセマー	二四三、一六三噸	二三九、六三三噸	二九七、九五六噸
ベセマー	六、五二六	四、四〇三	四、三五九
鹽基性平爐鋼	三一八、一八五	三五五、四〇三	四四九、八七七
酸性平爐鋼	五、二九〇	六、六二三	四、九七一
鹽基性鑄鋼	一四、二八〇	一四、四五七	一七、五〇六
酸性鑄鋼	八、二四一	九、三三一	一〇、二五一
坩堝鋼	二、八七八	三、六五四	四、一四六
電氣鋼	四、三六三	六、一七一	七、二六五
合計	六〇二、九二六	六三九、六七五	七九六、三三一

其一九 (The Iron & Coal Trades Review, Sep. 12, 1919.)

鐵鋼

ルクセンブルグに於ける鎔鑛爐數は合計四七基なるか、現に操業せるものは僅に一六基に過ぎず、而して七箇所の製鋼會社は一〇基の轉爐を共用せり、平爐は全然操業中止の情態なり。畢竟白耳義に於ける石炭及骸炭の禁輸に基くものなり。

經濟大臣は鋼企業組合に對して更に四箇月間強制的に之を延期せしむる新法令を發せり。此法令に據れば、企業組合は一九二〇年三月一日迄延期せらるゝ者なり。然れとも此間組合員に於ては企業組合の組織に變化を生せしめざる限りは、一月一日より其利益關係上販賣を企圖せらるへしと云ふ。

北米合衆國團體は上部シレジアに於ける某製鐵會社、ビスマルク製鐵所並上部シレジア鐵道材料會社等を買收せんとすの風説ありしか、之全く誤謬の報道なりとす、米國は曩に佛蘭西及白耳義の共同事業なるビスマルク製鐵所及マンネスマン鋼管會社に對して鋼管の註文を發したるを以て、斯かる風説を惹起せしものなるへし。

伯林に於ける獨逸金屬工業に關する帝國企業組合及レムシャイドに於ける製鐵業者、金屬、工具生産業者より成立せる獨逸企業組合は、今回合同して、獨逸金屬生産企業組合を組成せり。該企業組合は會員一四〇、〇〇〇名、二〇の通商組合及三〇〇、〇〇〇人の使役職工を有す、而して需用者の關係、原料の供給並に職工の利益増進等を要旨となし、尙企業組合として正規の義務を遂行すへきは勿論なりとす。

ドルトムントに於けるホーシ鐵鋼會社は本年六月末迄の決算報告をなせり、總利益の増加に就き、一九一四—一五年に於ては五、五〇〇、〇〇〇馬克なりしか、一九一七—一八年に於ては二七、五〇〇、〇〇〇馬克に上り、一九一八—一九年に於ては八、〇〇〇、〇〇〇馬克に減せり、一九一七—一八年に於ては價格低落の爲め、七、〇〇〇、〇〇〇馬克なるに對して五、五〇〇、〇〇〇馬克となり、本年に於ては一七、七五〇、〇〇〇馬克の不足を生せり、此損失原因は、ストライキ、作業中止、八時間制度、増俸、獨逸軍事公債相場下落、瑞典鑛石輸送故障、取引所の變動等に基因せり。本年に於ける損失總額は九、二五〇、〇〇〇馬克にして特別積立金を差引き、八、五〇〇、〇〇〇馬克を繰越高とせり。一九一七—一八年に於ける利益配當は三九パーセントにして、過去三ヶ年に於ける配當歩合は順次に二四、二〇、一二パーセントなり。

會社近信

過去二ヶ年間に於ける各會社の經濟狀態は左表の如し

會社名

純益

普通株に於ける配當歩合

會社名	一九二七—二八年	一九二八—二九年	一九二七—二八年	一九二八—二九年
オーリング製鋼會社	—	—	—	—
ラングシエード壓延工場	二二,〇〇〇 磅	七,七〇〇 磅	二五 %	六 %
ツアイツ鑄造所	七二,〇〇〇	七三,〇〇〇	四〇	四〇
ウエストフアリア金屬會社	五五,〇〇〇	一三,〇〇〇	二五	八

其二〇 (The Iron & Coal Trades Review, Sep. 19, 1919.)

鐵鋼

ルクセンブルグに於ける製鐵業は目下不振の情態なり。ブルバツハ、アイヒ、デュエリ、デリゲン會社に於ては註文豊富なれ共、其三工作所に於て僅に八基の熔鑛爐を操業するに過ぎず、生産高は一箇月三〇〇〇噸して通常生産高の半數なり、之等は、鋼に轉化せらるゝ者なり、又鐵道車輛不足の爲め生産物の輸送澁滞せるを以て新註文に影響すること大なり。特殊鋼の生産せらるゝドムメル、ディンゲンに於ては二基の平爐及五基の電気爐を以て操業せり。ゲルシエンキルヘン會社に於てはアーヘン及エツシ製鐵所の熔鑛爐は全部操業中止なるか、アドルフ、エミール製鐵所に於ては僅に三基の熔鑛爐及四基の轉爐を操業せり、されは各月の生産高は通常三五、〇〇〇噸なれ共、現時は僅に一二、〇〇〇噸の鋼を生産するに過ぎず。デツファ、デンゲンなる獨逸ルクセンブルグ會社に於ては、十基の熔鑛爐中唯二基のみ操業せり、八月に於ては銑鐵の九、〇〇〇噸を生産し、鋼工場は操業を中止せり。アウグリ、マリハ、エー會社に於ては、ローデンゲン工作場に於て三基の熔鑛爐並三基の轉爐を以て操業せるか、スタインフォート製鋼會社に於ては僅に一基の熔鑛爐を以て操業するのみにて他は全部中止す。

政府の統計に據れば、八月中ローレンに於ける鐵鑛生産高は合計八五〇、〇〇〇噸にして、内八〇〇

78 〇〇〇噸は販賣せられたり。貯藏量は一、五〇〇、〇〇〇噸に達するならんと測定せられたり。

ドルトムント地方の鐵鋼業に就ては注文豊富なり、而して材料不足の爲め輸出は比較的多量に達す、然れども職工の解僱並ストライキの爲めに生産額を大に減したり。又ホネータールに於ける石灰石工場ストライキの爲め、ドルトムント地方に於ける熔鑛爐は十分の操業をなし能はず、従て銑鐵生産も大に減少せり。

會社近信

過去二ヶ年間に於ける各會社の經濟狀態は左の如し。

會社名	純益		普通株に於ける配當歩合	
	一九一七—一八年	一九一八—一九年	一九一七—一八年	一九一八—一九年
ライオン製鋼會社	—	—	一二、五%	六%
ブルバツハ、アイヒ、デューリッゲン會社	—	—	九〇、法	五五、法
フリードリツヒ製鐵所	一七四〇、〇〇	一三六、〇〇〇	三〇、	二五
獨逸製鋼會社	—	—	一一、	七

其一一 (The Iron & Coal Trades Review. Sep. 26 1919.)

鐵鋼

銑鐵企業組合は十月初めより一定相場を協定せんとせしか、今後の騰貴も計られされは唯骸炭相場の成行を見て決定することとせり。一般に銑鐵は大に缺乏せり、七月に於ける銑鐵の生産高は増加せしか、八月下旬以來骸炭の一般的缺乏の爲めに絶えず生産減少の情態なり。

ライオン製鋼會社及獨逸ルクセンブルグ製鐵會社の管理者は曩に經濟大臣か彼等の反對にも係らず鋼企業組合をして三月一日迄延期せしことに就て抗議を提出せり。されは該二會社の代表者は、九

月二十四日に於ける企業組合主催の會議に出席せざりき、同會議は全く政府の提議を基準とせるものなるを以てなり、同日は南米に對する通商再現團の代表者出席せり。

ローレンに於ける左の工作場は近日中に處分せらるへしと云ふ即ち、ロムバツハ製鐵所、ハーゴンデンゲンなるタイセン製鋼所及ローレン製鐵組合なるノイテンゲン製鐵所等なり。其他ストラスブルグなるネター、ヤコービー壓延工場も賣却せらるゝことゝなれり。既述せるキール壓延工場に對して佛蘭西會社は五二〇、〇〇〇磅を以て其讓與を提出せり、然るにデイリッゲン製鐵所に對する佛蘭西の所有權獲得計畫は其後商議進行せずと云へり。

ケーニヒ及ラウラ聯合製鐵所に對する瑞典鐵礦供給は、瑞典に於ける埠頭職工ストライキの爲め輸送を阻碍せられたり、而してストライキは尙險惡の情態なり、茲に於て該製鐵所は二基の熔鑛爐の操業を中止せり。されとも銑鐵市況の好望なるに據り、ドンネルスマルク製鐵所は其第三熔鑛爐の操業を開始せり。上部シレジアに於けるビスマルク製鐵所は米國に販賣部を擴張せんか爲め米國財團と商議を開始せり、該會社は獨立販賣部を設立すへき志望なれとも米國に於ては既に上述機關の存在せるを以て多分之と合同すへしと云ふ。ビスマルク製鐵所に於ては數週間以前南米より一六、〇〇〇、〇〇〇馬克の注文を引受けたりと。

ニユーレンブルクに於けるフリッツ、ノイメーヤー會社及ハツリア製鐵所はミュンニヒに於けるクルツプ會社所屬ハツリア兵器製作所を購入せんとせり。オーベンドルフに於けるマウゼル兵器會社は十月十五日より兵器製造を中止し、新方面の製作に轉換せんとせり。

其二二 (The Iron & Coal Trades Review Oct. 3, 1919.)

鐵 鋼

79 ローレンに於ける鐵鑛生産は依然として不振なり、價格は占領せられざる地方輸送として鑛山渡

80 一噸に付、一八法なり。之に反してブリュク山に於ては戰前一噸五法なりしものか、時價二〇乃至二二法に騰貴せり。銑鐵の缺乏は全く石炭並骸炭の一般不足に因るものなり。一號鑄物用銑は品不足にて、ルクセンブルグ鑄物用銑も之を得ること至難なり、されとも三號鑄物用銑及びヘマタイトは比較的容易に求めらる。銑鐵企業組合は送料、月給並に燃料等の騰貴せるを酌量して現在より高價なる新價格を制定せられんことを計畫せり。

鋼企業組合は九月二十五日集會せり、此日南米より歸國せる一會員は南米に於ける通商再現問題に關して報告せり。同會議に於ては一時的な新價格の制定を延期することに決定せり。政府に於ては企業組合を刷新し、又ライン製鋼所並に獨逸ルクセンブルグ會社等の意見も參酌して公定相場を制定するに至るへしと云ふ。其翌日鋼聯合團體及鋼棒輸出企業組合は價格問題に就て商議せり。經濟大臣は高速度工具鋼の管理施行を撤廢せり。

鐵鋼生産業組合の報告に據れば、八月に於ては僅少の減退を示せり、此反面には七月の生産か本年に於ける最大量に達せしを證明せるものなり。銑鐵並壓延産物に於ては僅かの減少にて、鋼に於ては七パーセントの減少なり。之明かに石炭、骸炭及石灰石の缺乏に基因するものなり。八月に於ける銑鐵の生産高は五六八、七八五噸にして、七月に於ては五八〇、八一九噸なりき。八月に於ける鋼の生産は七三九七八三噸にして、七月に於ては七九六、三三一噸なりき。又壓延産物は八月に於ては六〇五、一七九噸にして、七月に於ては六二二、〇一六噸なりき。又同組合は輸送の障害、鐵鑛並燃料供給の不十分等の爲めに次月生産の減少を豫想せり。

獨逸ルクセンブルグ製鐵會社のルクセンブルグ所有權賣却に關して、佛國三獨立團體との協商は未だ決定するに至らず、一方に於て管理者スタイン氏は同會社のデツファアデンゲン及ルーメリングン工作所に就ては處分の必要なく、又ルクセンブルグ鐵鋼工業は早晚再び獨逸同業者と共同すへき

ものなることを陳述せり。

佛國最高團體即ちホメモート、マウソン及ミセビレーはロムバツハ製鐵所を要求せり、之と競争せる他の佛國二團體は成行上恐らく之に讓歩すへし、左れとも結果は未だ不明なり。

アウグスブルグ機械會社はエツセンなるコツパー石炭爐製造會社と利益共同に關して商議せり。

會社近信

過去二年間に於ける各會社の財政状態は左表の如し、

會社名

會社名	純益		普通株に於ける配當歩合	
	一九二七—二八年	一九二八—二九年	一九二七—二八年	一九二八—二九年
リンデンベルグ製鋼會社	— 磅	— 磅	二五%	一五%
ボヒューム會社	—	—	二二、五	五
ロツホリング鐵鋼會社	一九三、〇〇〇	一九九、〇〇〇	七、五	五
ゴールリツ鐵道材料會社	—	—	一七	一七
ギルデンマイスター機械工具會社	—	—	二〇	一二
ゴールリツ機械製作所	—	—	—	六
ルーデンシヤイド金屬製作所	—	—	二〇	一二
ウエストフアリヤ金屬製作所	五五、〇〇〇	一三、〇〇〇	二五	八
リツブシユタツト兵器製造所	三二、〇〇〇	二五、〇〇〇	一二	九
鍍金會社	三二、〇〇〇	二五、〇〇〇	一二	九
エツシワイラー鑛山會社	—	—	一二	一二

チイフエン製鋼會社	三四六、〇〇〇	一一二、〇〇〇	二五	一〇
ギユーテンホーフスング製鐵所	—	—	二〇	六
シヤーロットン製鐵所	一七七、〇〇〇	四二、〇〇〇	二四	一二
フックス車輛會社	六四、〇〇〇	六六、〇〇〇	二四	二二
南獨逸製鋼會社	三八、〇〇〇	二五、〇〇〇	一二	七

其二三 (The Iron. & Coal Trades Review. Oct 10. 1919.)

鐵 鋼

ローレンに於て鐵鑛業者並に其購買者はローレン鑛業組合を組成せり。其加盟者の重なるものは、ホメコート、ロングウイ、マウソン及ノールド等の製鐵會社、マウリール、シエビロン等の鑛山會社並にミシエビレー製鋼會社等なり。

鐵鋼價格値上問題に關してウエストフアリア鐵鋼業代表者は伯林に於て政府當局者と商議せり。鐵鋼業者は半成鋼、鐵道材料及シエーブス等は一噸に付三〇〇馬克迄引上くべきことを主張せり、又棒、板、薄板線、ロッド、管等も同一割合を以て引上くへしと云へり、實際上石炭並骸炭の騰貴の結果、鐵鋼相場に至りても一五〇乃至二〇〇馬克の價格引上げは不可能事には非ざるへし。

和蘭商會の代表者はウエストフアリアに於て販賣業者の提出價格を以て工具、スクリユー、線釘の多量を購入せり、而して凡ての株式所有權を確實に獲得せり。其の價格はマシイン、スクリユーに於て之を見るに戰前より四〇〇、パーセントも高價なる相場より更に一五〇、パーセント高價なるものなりき。

上部シレジアに於けるケーニヒ、ラウラ製鐵會社は前年度に於て一〇、八二四、〇〇〇馬克の損失をなせり、然れとも積立金を以て一時之を解決せり、今年度に於ては純益八、五七〇、〇〇〇馬克にして利

益配當は一ニパーセントなりき。

伯林に於ける政府委員は國有鐵道從業員に對して新俸給條令の協定をなせり。クラクフルトに於ける鐵道組合委員は時間極俸給 (hourly wage) の制度となし、而して十九歳未滿の從業者には一日二八〇馬克以下となし、十九歳より二十一歳迄の者には二、八〇乃至三、〇五馬克とし、二十歳より二十四歳迄の者には三、一〇乃至三、五〇馬克とし、而して二十四歳以上の者には三、五五馬克の俸給とせり。

◎試驗桿破面の木質狀組織に就て

Engineering Vol. O VIII—No. 2304. By J. J. Cohade

T O 生

曩にシャーピー氏は、鍛造部品より横方向に採取せる試験桿に就き、收め得たる機械的試験の結果に及ぼす高度なる變形の有害なる影響を發表せしに、其の後に到り博士ステッド氏初め幾多の諸大家相次て、横斷試験に於ける此の不良成績の原因に關し交々論議せられたり、余も之に關聯して特種鋼中殊にニツケル鋼に就き、此の未決現象の發生すること普通鋼に比較し遙かに著しく、而も含有炭素量の多寡は大に與つて力あることを指摘せんとす。

不完全の横斷試験 横方向に採取せる試験桿に對し牽引試験を施すに、彈性界及破壊應力は實際縦方向に採取するものと同一なるか或は稍々少しく劣れるのみにして、共に同一の特質を現はすと雖、一方に在りては收縮及延伸率低くして撃突、打撃並屈曲試験の成績悉く縦方向のものに劣れり、加之同時に破面には鍛造の際、金屬の組織に依り一定する軸に平行の面と破面との交叉點より生ずる幾多の平行線狀の條痕を表はすなり、依て斯の如き破面を woody fractures (木質狀破面) と稱す。